

# クラインガルテンでの都市農村交流形成に向けた適切なイベントのあり方

— 不動尊クラインガルテンを事例に —

## The Adequate Events Program for Planning Urban-Rural Exchange in *Kleingartens*

-In case of *Fudouson Kleingarten*-

○井上真美\* 牧山正男\*\*

INOUE Mami\* and MAKIYAMA Masao\*\*

### 1. はじめに

クラインガルテン（滞在型市民農園，以下，KG）は，二地域居住の実現だけでなく，KG利用者（都市住民）と農村住民との特定少数型の都市農村交流の形成も期待されている。だが交流への意識が低い利用者があることなど<sup>1)</sup>によって，実際にはその形成は容易ではない。そのため，都市農村交流を促進するためには，第三者であるKG管理・運営側による仲介が不可欠であり，その1つに，交流のためのイベント（以下，イベント）の開催がある<sup>2)</sup>。

本研究では，都市農村交流の形成のために適切なイベントのあり方について，不動尊KG（宮城県丸森町）を事例に考察した。

### 2. 交流の段階に応じたイベント(Fig.1)

KGにおける都市農村交流は，家族や友人といった個人単位で来訪する利用者として，それを受け入れる農村社会との間で行われる。交流がない状態から，①利用者同士や利用者と農村住民との交流が開始され，②多くの人の間でさらに進展し，最終的には，③利用者と農村住民との垣根がなくなることが目指される。これらは，①利用者と農村住民とが「出会う」，②知り合い同士の輪が「広がる」，③交流関係がより「深まる」，という3段階に表現できる。すなわち，イベントの内容はこれらの各段階に応じて変化させる必要がある。

### 3. 不動尊KGでのイベント

不動尊KGの概要をTable 1に示す。地元集落住民により結成された管理組合が，KGの管理・運営を町から委託されている点が特徴である。イベントは管理組合を中心として，5，8，

Table 1 不動尊KGの概要

The profile of *Fudouson Kleingarten*

開園, 区画数, 年利用料	2000年, 18区画, 36万円
管理・運営(指定管理者)	地元住民による管理組合

Table 2 不動尊KGでのイベント(2007年)

The events in *Fudouson Kleingarten* (in 2007)

	内容	企画・運営
5月26日(土) 11時～	利用者と地元住民との食事会	管理組合
8月4日(土) 18時～	利用者と地元住民との食事会, 盆踊りなど	管理組合, 町のサークル等
11月4日(日) 9時30分～	利用者や管理組合などによる出店, 町内の神楽など	管理組合, 町のサークル等, 利用者

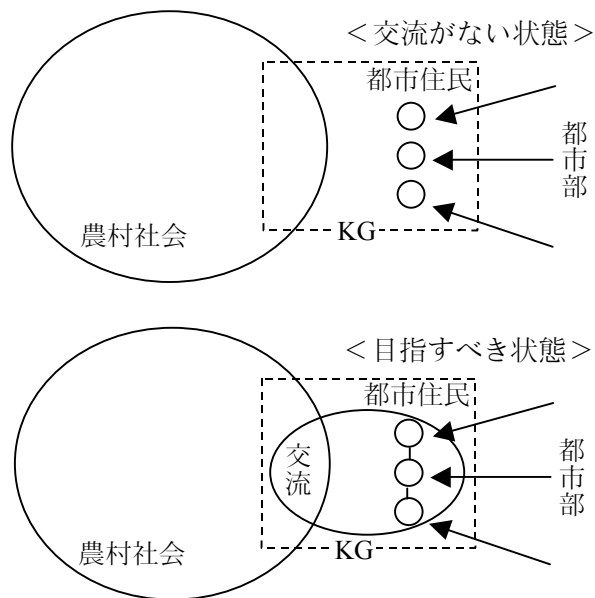


Fig.1 KGでの利用者と農村社会との関係の進展

The growth of the relation between *Kleingarten's* users and rural community in *Kleingarten*

\*東京農工大学大学院連合農学研究科 United Graduate School of Agricultural Science, Tokyo Univ. of Agri. and Tech.

\*\*茨城大学農学部 College of Agri., Ibaraki Univ. キーワード：クラインガルテン，都市農村交流，交流のためのイベント

11月の年3回開催されている (Table 2).

このうち、5月のイベントは、管理組合の主催による利用者と地元住民 (管理組合の組合員) との食事会である。利用者同士や地元住民同士が固まらないように席を指定するなど、双方を知り合わせるための工夫がとられている。つまりこのイベントは①「出会う」ことが目指されている。

8月は、食事会や盆踊りなどが行われる夏祭りである。参加者は5月よりも自由に動き回れる。また、管理組合の他にも町のサークルなどがイベントの企画・運営に参加しており、利用者は管理組合員以外の人とも知り合える。これらにより、交流が②「広がる」効果があると考えられる。

そして11月の収穫祭では、農産物直売などの出店が並ぶ。このイベントは、企画段階から、管理組合や町のサークルなどに加えて、一部の利用者が参加しており、当日もそれぞれが協働的に運営を行っている。これらのことから、このイベントには③「深まる」効果が期待される。

#### 4. イベントの開催時期について

ここで、2003~2006年の間に利用を開始した利用者 (13組) の利用記録から、その利用1年目と2年目の各月における利用日数の平均 (前後1ヶ月を含む移動平均) を Fig.2 に示す。両年とも5、6月から増え始め、9月にピークをむかえ、11月から減り始め、1、2月に最少になる、という変動を示した。ちなみに全利用者の利用日数の変動もこれと同じ傾向である。

3回のイベントが開催される月は、まず5月は、利用日数は多くはないが、年度頭であるため、特に初年度の利用者にとっては、この時期に「出会う」イベントが開催されることによって知り合いができ、KGを利用しやすくなると考えられる。また、ここで知り合うことにより、その後の利用頻度が高くなる時期において、交流の効果的な形成が期待される。

8月は利用者がKGを最も多く利用する時期

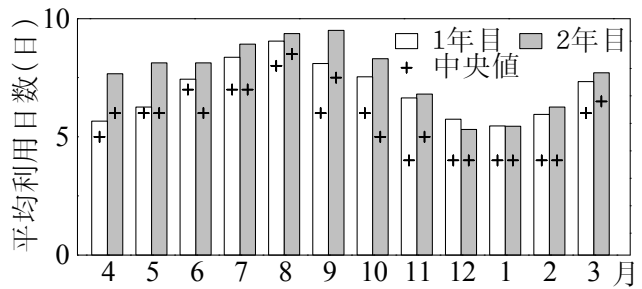


Fig.2 不動尊KG利用者の利用1年目、2年目における月あたりの利用日数

The length of stay per month of the first-year and second-year users in Fudouson Kleingarten

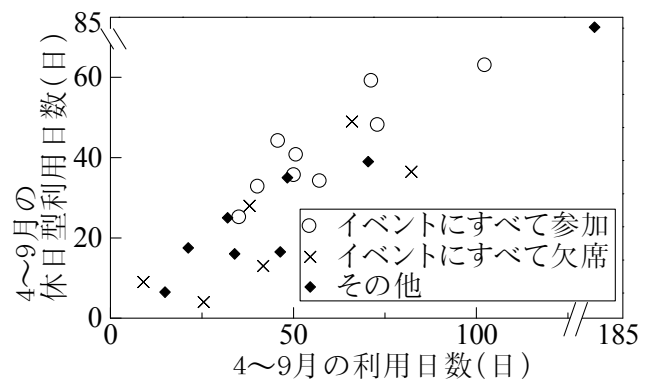


Fig.3 各利用者の利用日数と休日型利用日数 (2006~2007年, N=23)

The relation between the length of each user's stay and the length of stay in holidays

であるため、イベントにも大勢が参加しやすい。したがってより多くの人と知り合い、交流を広げる機会になりやすいと考えられる。

そして利用者が多い時期から協働的に準備を開始したイベントを、利用者が減少し始める11月に開催することは、イベントの準備に多くの利用者が参加しやすく、また、利用日数が少なくなる時期に向けて、これまでに進展した交流の停滞を防ぐ効果が期待される。

ただし、出欠状況が確認できた2006、2007年の5、8月のイベントは、いずれも欠席者が約3~5割いた。イベントの開催が休日であるため、KGを主に平日に利用している人はこれに参加しにくいのだと考えられる (Fig.3)。

謝辞 不動尊市民農園管理組合の皆様、丸森町産業観光課に感謝の意を表します。

文献 1)井上・牧山 (2007), 農業農村工学会大会講要, 2)牧山ほか (2006), 農土論集241号。